



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社  
 コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 CFO  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月3日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大野 龍隆  
 (氏名) 男澤 一郎

TEL 03-5805-7401

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	187,230	5.4	20,732	3.3	20,354	3.6	12,894	△0.7
28年3月期第3四半期	177,626	17.2	20,078	5.2	19,638	5.0	12,988	9.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 10,906百万円 (△0.0%) 28年3月期第3四半期 10,908百万円 (△27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	46.96	46.40
28年3月期第3四半期	47.37	45.87

(注) 平成27年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	200,344	149,354	74.0
28年3月期	194,186	142,333	72.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 148,274百万円 28年3月期 141,462百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.37	—	8.05	15.42
29年3月期	—	7.61	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.62	16.23

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	253,500	5.6	27,200	5.9	26,600	5.9	17,800	64.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	274,826,652 株	28年3月期	274,606,752 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	129,088 株	28年3月期	128,812 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	274,574,110 株	28年3月期3Q	274,202,256 株

(注) 平成27年7月1日付で、当社株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済および日本経済は、一部に改善の遅れが見られるものの、全体として緩やかな回復基調が続きました。一方、アメリカの今後の政策動向や中国を始めアジア新興国等の景気の先行きなど、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等にも留意しなければならない状況となっています。

このような環境において当社グループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献し、同時に事業拡大を加速させています。ITを核とした新たなものづくりに応えるため、引続きウェブ戦略を推進し競争力を強化しました。また、海外における拠点展開として、最適調達を目的とした現地生産・現地調達の取り組みを推進し、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。これらの取り組みなどにより、為替変動の影響を受けたものの、自動車業界やエレクトロニクス業界の需要増を取り込んだFA事業の増収と、取り扱いメーカー数を拡大し顧客数が増加したVONA事業の成長が連結売上高全体の増加を牽引しました。

こうした結果、連結売上高は1,872億3千万円（前年同期比5.4%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は207億3千2百万円（前年同期比3.3%増）、経常利益は203億5千4百万円（前年同期比3.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は128億9千4百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

なお、連結業績予想につきましては、平成28年10月28日公表の前回予想時点からの変更はありません。今後も積極的な事業拡大と事業基盤の拡充を継続し、売上高、利益ともに前期に引き続き過去最高を更新する見通しです。

#### ・報告セグメントの業績

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「4. 四半期連結財務諸表 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

#### ①FA事業

FA事業においては、FA部品の確実短納期ニーズがグローバルに拡大する中、ミスミモデルを着実に浸透させ、自動車やエレクトロニクス関連業界などの新たな自動化需要を積極的に取り込んだことなどにより、為替影響を受けながらも日本、中国、アジア、欧州等における販売拡大が寄与し、売上高は613億5千2百万円（前年同期比7.4%増）となり、営業利益についても107億8千8百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

#### ②金型部品事業

金型部品事業は、主要顧客である自動車関連業界への拡販活動などにより、中国、アジア、欧州の販売は好調だったものの、為替影響等により、売上高は507億5千2百万円（前年同期比2.8%減）となりました。営業利益は為替影響や事業拡大に向けた費用増等により、23億4千9百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

#### ③VONA事業

VONA事業は、ミスミブランド以外の他社製品も含めた生産設備関連部品から、製造副資材やMRO（消耗品）等を販売するミスミグループの流通事業です。事業成長を支える取扱いメーカー数は2,700メーカーとなると同時に、取扱品目数は1,700万点に達しました。こうした品揃えの拡充や積極的な販売拡大に努めた結果、為替影響を受けたものの、売上高は751億2千5百万円（前年同期比9.0%増）となり、営業利益についても81億5千2百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ61億5千8百万円増加し、2,003億4千4百万円となりました。この主な要因は現金及び預金が60億1百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が40億1千7百万円増加したこと、商品及び製品が19億1千3百万円増加したこと、その他流動資産が32億5千万円減少したことなどにより流動資産が85億6千3百万円増加したこと、有形固定資産が11億6千7百万円減少したこと、無形固定資産が15億5千4百万円減少したこと、及び投資有価証券等の投資その他の資産が3億1千6百万円増加したことです。

総負債は前連結会計年度末に比べ8億6千2百万円減少し、509億9千万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が3億8千9百万円減少したこと、未払金が7億6千2百万円減少したこと、未払法人税等が10億8千万円減少したことなどにより流動負債が12億7千1百万円減少したこと、固定負債が4億8百万円増加したことです。

純資産は前連結会計年度末に比べ70億2千1百万円増加し、1,493億5千4百万円となりました。この主な要因は利益剰余金が85億6千3百万円増加したことなどにより株主資本が87億2千9百万円増加したこと、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が19億1千7百万円減少したことです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の72.8%から74.0%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ35億5千1百万円増加し、427億5千6百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、132億2千6百万円の純収入となりました（前年同期は93億6千2百万円の純収入）。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が199億7千万円、減価償却費が43億2千2百万円、のれん償却額が12億7千2百万円、売上債権の増加額が39億3千8百万円、たな卸資産の増加額が26億2千3百万円、仕入債務の増加額が7千2百万円、未払金の減少額が1億5千7百万円、法人税等の支払額が86億6千2百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、49億1千2百万円の純支出となりました（前年同期は27億4千4百万円の純支出）。この主な内訳は、固定資産の取得による支出が52億8千万円、定期預金の預入による支出が200億1千7百万円、定期預金の払戻による収入が176億7千2百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、41億6千3百万円の純支出となりました（前年同期は36億8千9百万円の純支出）。この主な内訳は、配当金の支払額が42億9千9百万円です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成28年10月28日に公表いたしました連結業績予想から修正はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)

連結財務情報のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、決算日が12月31日である連結子会社28社(MISUMI(CHINA)PRECISION MACHINERY TRADING CO., LTD. 他27社)については、連結決算日である3月31日における仮決算による財務諸表にて連結する方法に変更しております。この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は平成28年4月1日から平成28年12月31日までの9か月間を連結しております。

なお、平成28年1月1日から平成28年3月31日までの損益は、利益剰余金の増減として調整しております。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,891	58,892
受取手形及び売掛金	49,373	53,391
商品及び製品	22,706	24,619
仕掛品	1,894	2,741
原材料及び貯蔵品	5,458	4,572
その他	8,727	5,477
貸倒引当金	△257	△335
流動資産合計	140,795	149,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,611	9,957
機械装置及び運搬具(純額)	11,057	11,855
土地	3,725	3,717
その他(純額)	3,786	2,481
有形固定資産合計	29,180	28,013
無形固定資産		
ソフトウェア	6,159	7,710
のれん	3,457	1,498
その他	10,097	8,951
無形固定資産合計	19,714	18,160
投資その他の資産		
投資有価証券	27	30
その他	4,589	4,921
貸倒引当金	△122	△139
投資その他の資産合計	4,495	4,811
固定資産合計	53,391	50,985
資産合計	194,186	200,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,414	14,024
未払金	5,951	5,189
未払法人税等	3,847	2,767
賞与引当金	2,383	1,473
役員賞与引当金	310	187
その他	4,679	6,672
流動負債合計	31,585	30,314
固定負債		
新株予約権付社債	11,268	11,649
退職給付に係る負債	3,992	4,348
その他	5,006	4,678
固定負債合計	20,267	20,676
負債合計	51,853	50,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,996	7,080
資本剰余金	17,385	17,468
利益剰余金	114,169	122,733
自己株式	△76	△76
株主資本合計	138,475	147,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6	△4
為替換算調整勘定	3,065	1,135
退職給付に係る調整累計額	△72	△61
その他の包括利益累計額合計	2,986	1,069
新株予約権	342	597
非支配株主持分	527	482
純資産合計	142,333	149,354
負債純資産合計	194,186	200,344

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	177,626	187,230
売上原価	102,198	109,795
売上総利益	75,428	77,435
販売費及び一般管理費	55,349	56,702
営業利益	20,078	20,732
営業外収益		
受取利息	207	141
補助金収入	—	49
雑収入	162	192
営業外収益合計	369	384
営業外費用		
売上割引	50	52
為替差損	666	559
教育機関設立寄付金	—	100
雑損失	92	50
営業外費用合計	809	762
経常利益	19,638	20,354
特別利益		
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	109	—
特別利益合計	109	—
特別損失		
事業再編損失	225	383
特別損失合計	225	383
税金等調整前四半期純利益	19,522	19,970
法人税等	6,499	7,107
四半期純利益	13,023	12,862
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	34	△31
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,988	12,894

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	13,023	12,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	1
為替換算調整勘定	△2,115	△1,949
退職給付に係る調整額	9	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△19
その他の包括利益合計	△2,115	△1,956
四半期包括利益	10,908	10,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,885	10,976
非支配株主に係る四半期包括利益	22	△70

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	19,522	19,970
減価償却費	4,507	4,322
のれん償却額	1,418	1,272
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	334	376
賞与引当金の増減額(△は減少)	555	△988
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△77	△122
貸倒引当金の増減額(△は減少)	152	73
受取利息及び受取配当金	△207	△141
支払利息	1	3
株式報酬費用	68	284
為替差損益(△は益)	△163	795
持分法による投資損益(△は益)	△34	△42
在外子会社清算に伴う為替換算勘定取崩益	△109	—
事業再編損失	225	383
売上債権の増減額(△は増加)	△3,939	△3,938
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,191	△2,623
未収消費税等の増減額(△は増加)	22	559
仕入債務の増減額(△は減少)	△256	72
未払金の増減額(△は減少)	△1,304	△157
その他の資産の増減額(△は増加)	△381	△93
その他の負債の増減額(△は減少)	△878	977
小計	17,263	20,982
利息及び配当金の受取額	391	193
利息の支払額	△1	△3
法人税等の還付額	778	716
法人税等の支払額	△9,070	△8,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,362	13,226
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	1,600	—
固定資産の取得による支出	△6,279	△5,280
固定資産の売却による収入	488	4
定期預金の預入による支出	△17,900	△20,017
定期預金の払戻による収入	21,353	17,672
敷金及び保証金の差入による支出	△146	△441
敷金及び保証金の回収による収入	168	286
その他	△2,029	2,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,744	△4,912

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△110	—
株式の発行による収入	154	136
長期借入金の返済による支出	△45	—
配当金の支払額	△3,684	△4,299
その他	△3	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,689	△4,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	△770	182
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,156	4,333
現金及び現金同等物の期首残高	37,267	39,204
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△781
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,423	42,756

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,126	52,224	68,909	178,260	△634	177,626
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	57,126	52,224	68,909	178,260	△634	177,626
セグメント利益	9,671	3,163	7,588	20,423	△345	20,078

のれん等償却前セグメント利益※	9,671	5,064	7,588	22,324	△345	21,979
-----------------	-------	-------	-------	--------	------	--------

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

## 2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	178,260
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△1,157
その他の調整額	523
四半期連結損益計算書の売上高	177,626

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	20,423
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△458
その他の調整額	112
四半期連結損益計算書の営業利益	20,078

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA事業	金型部品事業	VONA事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	61,352	50,752	75,125	187,230	—	187,230
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	61,352	50,752	75,125	187,230	—	187,230
セグメント利益	10,788	2,349	8,152	21,290	△558	20,732

のれん等償却前セグメント利益※	10,788	4,052	8,152	22,993	△558	22,435
-----------------	--------	-------	-------	--------	------	--------

※(参考情報)

Dayton Lamina Corporation買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

## 2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	187,230
調整額	—
四半期連結損益計算書の売上高	187,230

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	21,290
調整額	△558
四半期連結損益計算書の営業利益	20,732

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの組織管理体制の見直しに伴い、第1四半期連結会計期間より「FA事業」の一部を「VONA事業」に移管しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法に基づき作成しております。

(補足情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 地域に関する情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
93,751	28,844	21,792	20,806	8,924	3,507	177,626

(注)売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
10,052	8,262	6,046	2,779	1,437	28,577

## 2. のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	金型部品事業
当第3四半期 連結累計期間償却額	1,418
当第3四半期末残高	3,910

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 地域に関する情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他	計
102,492	31,255	22,672	18,474	9,233	3,101	187,230

(注)売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	中国	ベトナム	アメリカ	その他	計
10,126	7,357	5,967	3,191	1,370	28,013

## 2. のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	金型部品事業
当第3四半期 連結累計期間償却額	1,272
当第3四半期末残高	1,498